

## 平成28年度 NPO事業 事業報告

特定非営利活動法人古川学人  
担当理事:高橋久之、若見正幸

分類	事業名 ＜ 実施時期 ＞	概要	
1	被災地支援事業	1-1	・東日本大震災の津波被害を受けた石巻地域等への支援事業。 「米俵百俵の精神」で人づくりをするプロジェクト「イシノマキカワノカミ大学」への協力。 被災地と大崎地区との人的ネットワーク構築(通年)。
	通年	1-2	・あたなを、忘れない ところを結ぶコンサート(チェリスト 土田英順氏)を実施(4月23日)。 ・南三陸スマイルアゲインプロジェクト(SAP)への支援活動。 大崎地区の学生が主体となり南三陸の被災地域を支援(通年)。
2	東アジア交流事業	2-1	通年 吉野作造が中国・朝鮮半島の知識人との交流があったことになみ、 当館が日本と東アジアの架橋となるべく事業を実施。 ・映画「弁護士 布施辰治」上映会(11月20日、12月4日)
3	キッズ教育 支援事業 (小・中学生対象)	3-1	・太陽学童保育学習クラブ見学会(4月5日) ・映画「ずっと、いっしょ。」上映会(4月8日～10日) ・夏休み自由研究サポートし隊！(7月28日～31日) ・宮崎中学校見学(9月30日) ・北浦小学校見学会(11月22日)
		3-2	・子供の人權に関する課題解決に向けた取り組み(生協へ助成金申請をしたが不採択)。
		3-3	・小中学校への教育支援事業。 ・Synapse40と協力した教育支援事業(通年)。
4	ヤングジャパン 応援プロジェクト (高校・大学対象)	4-1	通年 吉野作造がグローバルな視野で活躍する多くの後進たちを育成したことに鑑みて、国際協力などで活躍する若い世代の活動を紹介する「ヤングジャパン応援プロジェクト」。高校生～大学生を対象とする。 ・古川高校古高学人会見学(6月5日) その他古高学人会への協力 ・仙台第三高等学校放送部への取材協力(10月6日・9日・15日) ・尚綱学院大学研修会(2017年1月7日) ・古川学園高等学校見学会(2017年1月17日)
5	シティズンシップ 普及事業	5-1	主権者教育事業 「18歳選挙権」をふまえ、宮城県内の高校を対象とし、学校教育の中で当館を活用してもらうための普及事業を行う。有権者となる意義、政治の意義について学ぶ機会とした。 訪問実績:78件 実施数:2,050名 ・高等学校での主権者教育事業 ・仙台第三高等学校(6月3日)、東松島高等学校(6月3日)、宮城野高等学校(6月14日) ・蒲谷高等学校(6月29日)、岩出山高等学校(11月15日)、仙台第二高等学校(2017年1月19日) ・南郷高等学校(2017年2月16日)、名取高等学校教員研修会(2017年2月24日)
		5-2	通年 明るい選挙推進協会や「選挙+puis」が主催する企画「選挙に行こう」に協力。投票率向上のための応援企画を実施し学生や市民が選挙へ参加し民主主義の普及へ繋げる事業(通年)。
6	健康増進事業	6-1	通年 ・休憩ラウンジを活用した食育・健康増進・教育等の事業(通年) ・大崎市主催事業「脳トレ塾(脳の健康教室)」への協力(2016年9月～2017年2月)
7	環境デモクラシー 事業	7-1	通年 ・自然や環境について学び、人々のこれからの生活について考えるプロジェクト。 大崎地域での講演団体との連携共生を推進活動の展開(通年)。
8	元気発信 まちカル事業	8-1	通年 ・わっくわく教室等の芸術文化振興 NPO法人東北の造形作家を支援する会協力による「マーブリングで遊ぼう」を実施(9月24日)。 ・オオサキ映画自主上映会実行委員会へのサポート 社会的な課題をテーマとした非商用映画の上映会(通年)
9	寄附金 募集事業	9-1	通年 当法人の活動を幅広く行うため、年間を通じて寄附金募集を行い、合計で433,920円の寄附協力をいただいた。また、寄附者に対しては確認の上、氏名公表を行う他、記念館だよりの送付を行った(通年)。
10	個人会員 拡大事業	10-1	通年 これまで以上によりよい運営と事業を幅広く行うための個人会員拡大事業。 (平成29年3月現在:26名)
11	平和事業	11-1	アジア・オセアニアシーレーン「非核平和創造クラブ」創設構想を提言 (11月3日にホームページへ掲載)

# 平成28年度吉野作造記念館指定管理事業 事業報告書

特定非営利活動法人 古川学人

本事業: 指定管理料の中で行う事業      自主事業: 本事業以外の財源で行う事業      ★: 市民大学対象事業

分類	事業名 < 実施時期 >	実施概要
顕彰型	1 企画展 前期5月29日～8月7日 後期10～12月	1-1 前期企画展「暮らしの向上を求めて」(5/29-8/7) ・オープニングシンポジウム「地域の中で子どもの暮らしを考える」(5/29) パネリスト 門馬優氏、千葉繁美氏、千島優子氏 ★
		1-2 後期企画展「自由を愛し、平和を貫く—吉野作造と安中教会—」(10/9-12/28) ・梁韓国総領事が企画展を視覧(11/10) 企画展記念講演会(10/15) ・宮田光雄(東北大学名誉教授)氏 演題「吉野作造先生と私」★
	2 吉野作造講座 6月～8月 10～12月	2-1 前期講座「伊達政宗と大崎ゆかりの家臣たち」(6/11、6/25) ・講師 元仙台市博物館館長 佐藤憲一氏 ★
		2-2 入門講座「1から学ぶ! 吉野作造講座」(4/24、10/16) 小嶋翔研究員 ★
		2-3 後期講座「吉野作造の平和思想」(11/13) 大川真館長 ★
	3 テーマ展示 通年	3-1 廊下や講座室前の展示スペースを活用したテーマ展示を開催し、パネル等でわかりやすく紹介。 ・展示「民本主義100周年展」(4/1-12/28) ・ミニ企画展「とと姉ちゃん」と『暮らしの手帖』(8/23-12/28) ・大崎市文化財指定記念展(2/1-2/28) ・展示 白熱講演「～吉野作造記念館の講演会～」(1/8-3/31)
	4 第5回公募論文 作品募集事業 (締切、審査) 通年	4-1 吉野が終生後進の育成に取り組んでいたことを鑑み、吉野作造研究賞を設け公募。 ・H28年7月31日 公募締切、その後審査会(2作品が最優秀賞に決定) ・H29年秋 授賞式・受賞者講演会開催 ★ ・H30年3月 『吉野作造研究』刊行
	5 各種出版事業 通年	5-1 研究成果をまとめた『吉野作造研究』および研究誌の発行。
	6 資料収集・保存 ・研究調査 通年	6-1 吉野博士に関する資料収集・研究調査資料保存・管理・展示に関わる業務。収蔵資料の劣化等の修復や新資料の購入など、大規模な経費が発生する内容(空調修繕等)については大崎市へ依頼した。 ・吉野作造関係資料54点が大崎市文化財に指定(11/1)、記念展示を開催(2/1-2/28)。
	発信型	7 教育普及事業 通年
8 第10回 吉野ネットワーク 交流事業 人材育成研修会 9月2～4日		8-1 学生の人材育成と吉野研究者のネットワーク構築を目的とした合宿研修会。講義や討論、交流会。 ・基調講演会「デモクラシーとメディア」猪木武徳氏 ※一般公開(9/2) ★ ・講義「吉野作造の第一次世界大戦論」奈良岡聡智氏(9/3) ・講義「市川房枝に考える完全普選実施70年 —自由と多様性の基盤としてのデモクラシーの成長」村井良太氏 ・成果報告(9/4)
9 読売・吉野作造賞 受賞者講演会 11～12月記念講演		9-1 中央公論新社と読売新聞が主催で行っている「読売・吉野作造賞」。 今年度は受賞作無し。 ・三谷博氏講演会「世界文脈にける明治維新」(9/9)
10 記念館だより発行 3月下旬発行		10-1 ・実施事業の報告とこれからの事業紹介。全28頁、2色刷り、発行部数1200部。
11 インターネット活用 通年		11-1 ・当館ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等での継続した広報活動の強化、寄附金等の募集にも活用。
自主事業	12 市民交流事業 通年	12-1 GWイベント(5/5) ・企画展「暮らしの向上を求めて」プレ展示、バックに絵を描こう、ピスケット作り おはなし会、アニメ上映、リテラクリーガーショー、古高コーラス部コンサート
		12-2 クリスマス会(12/18)
		12-3 ・カリヨン、ふみ&どんコンサート等 生誕記念イベント「ロクティム公演」(1/28) 生誕記念コンサート「アイリス、コール・マン、KY」(1/29)
	13 サービス 向上事業 通年	13-1 アンケートの実施(通年) ・お客様の声を常時収集しサービス向上のために活用。アンケート結果は全てホームページおよび館内表示にて公開。年間で488名の皆様にアンケート協力をいただきました。 吉野作造記念館友の会会員の募集 ・3000円および5000円会員を募集し、30名の皆様が加入。 ・入会すると市民大学を受講できる他、広報物の案内や入館無料等のサービスを提供。
		13-2 YOSHINOサポーター募集 ・当法人の活動を応援する通称「YOSHINOサポーター」を募集。 ・Aコース50,000円が10社、Bコースが30,000円7社が加入。 ・協賛企業には広報物に社名を1年間掲載。 ・入館料が無料となる他、記念館だより・広報物の案内。
13-3 休憩ラウンジ活用事業 ・市民誰もが自由に休憩できる場を提供するため、大崎市へ目的外使用の申請を提出し活用事業を行った。		
13-4 学習スペース活用事業および学習ソフトを活用した自主学習の推進 ・学生や市民の勉強、研究の場を無償提供。		